



施工説明書

サインポスト ユニサス

このたびはサインポスト ユニサスをご採用頂き、まことにありがとうございます。

■施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。

特に「安全上のご注意」は、**施工前に必ずお読みください。**

■施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

■電気配線工事は、必ず電気工事店様にご依頼ください。

■同梱されている取扱説明書は必ず施主様へお渡ししてください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



禁止

- 施工時に商品仕様を変えるような加工をしない
施工時に商品仕様を変えるような加工をされた場合は、品質保証責任を負いかねます。仕様を変えると、けがをするおそれがあります。

- ホースや洗浄用の高圧シャワーによる直接の散水はしない
各機能（LED表札照明など）に障害が生じるおそれがあります。また発火・発煙・感電の原因となります。



必ず守る

- 商品の施工は、施工説明書に従い確実に行う
落下などによる、けがのおそれがあります。
- 電源は交流100Vを使用する
交流100V以外を使用すると過電流による故障および火災の原因となります。
- 電気工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う
火災の原因となります。

- アースを確実に接地する（D種接地工事）
感電のおそれがあります。
- 電源線は端子台の奥まで確実に差し込む
- カバーは電源線接続後、元通りねじ固定する
感電・発火のおそれがあります。
- 専用の漏電ブレーカーを室内側に設置する



注意



禁止

- 通行の妨げになる場所へ設置しない
- 製品の本体下部や裏ふたに頭があたるような場所や高さに設置しない
けが、故障の原因となります。

- 家屋への埋込み施工はしない
けがや建屋内へ雨水浸入のおそれがあります。
- ポストのひさし部（LED表札照明）を持ったり、力を加えたりしない
器具やカバーが外れ、けがをするおそれがあります。



必ず守る

- 取り出しスペースを十分にとる
裏ふたの開閉操作が十分に行える場所に設置してください。
けがの発生や事故のおそれがあります。

- オプション品（別売）の化粧枠を施工する場合、下面側にはコーキングを塗布しない
水が抜けず、凍結などで機能が損なわれるおそれがあります。

施工上のお願い

- 取り付け工事には保護用手袋を着用して作業してください。
- ポスト上面はブロック3段までの積み上げとしてください。また横筋は高さ方向80cm以下（ブロック4段ごと以下）の間隔で配置してください。
ポスト天面がたわむ原因となります。
- 内・外装工事がある場合には、製品の保護を行ってください。リシンなどの塗装がかかると、塗料がはがれたり、変色の原因になります。
- 製品の表面保護はマスキングテープをご使用ください（養生テープは、お避けください）また、周囲作業（モルタル、吹き付け仕上げなど）時のみの貼り付けで、作業後は速やかに取り外してください。
養生テープを使用したり、長時間の貼り付けをしたりすると塗装がはがれたり、変色したりする原因になります。
- 製品に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに清掃してください。
塗料がはがれたり、腐食の原因になります。
- 垂直水平に施工してください。
ポストの変形、故障の原因になります。
- 施工時の汚れ落としは、中性洗剤をご使用ください。シンナー、塩酸などを使用すると、腐食の原因になります。
- 固いものをあてたり、強い衝撃を与えないでください。表面に傷をつけますと、腐食の原因になります。
- ポスト、本体部の底面の水抜き穴をふさがらないでください。本体内へ雨水侵入のおそれがあります。

施工方法について

新築(新設)の場合 3～5ページ

リフォームの場合 6～7ページ

■ ポール施工・据置施工・フェンス施工をする場合は、専用の別売品が必要です。
詳しくは、それぞれ別売品に同梱の施工説明書を参照してください。

電気配線工事について (LED 表札照明・カメラドアホン子器を取り付ける場合)

はじめに

- 電気配線工事は専門の電気工事店にご依頼ください。
- 照明用電線と信号線は電線管による離隔が必要です。
- 接地工事は、電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。
- 明るさセンサ付にかかわらず、室内に「入／切スイッチ」を必ず設けてください。

使用電線

- 照明用電線：
VVFφ1.6、またはφ2.0の「3芯単線(2芯+アース線)」または「2芯単線と別途アース線」
- 信号線（ドアホン、カメラドアホン用）：
VCTFO.75 mm²、またはφ1.0単線2芯または3芯
- 専用の漏電ブレーカーを室内側に設置してください。

施工後の確認

- 各部のねじの緩みがないか確認してください。
- ガタツキなどがないか確認してください。
- 取扱説明書のお施主様向け書類は必ずお施主様にお渡しください。
- 投入口ふたの開閉確認してください。
- 裏ふたの開閉確認をしてください。
(特にふたの保持機能)(開閉方法は取扱説明書参照)
- 下記のような条件下においてはサインポストに錆が発生することがあります。
 - ・ 鉄粉などによる異種金属が付着するような立地環境
(工場地帯や鉄粉が舞う工事現場など)
 - ・ 排ガス中の有害物質が付着するような立地環境
(工場地帯や交通量の多い市街地など)
 - ・ 塩分が付着するような立地環境
(海岸地帯など)

寸法図

単位：mm

| | 前面板 | 本体底部 (共通) | 1 B | 2 B |
|-------------|-----|-----------|-----|-----|
| H185 (ブロック) | | | | |
| H140 (スリム) | | | | |
| H95 (口金) | | | | |

同梱品

- ・ 施工説明書
- ・ 取扱説明書
- ・ 表札注文ハガキセット

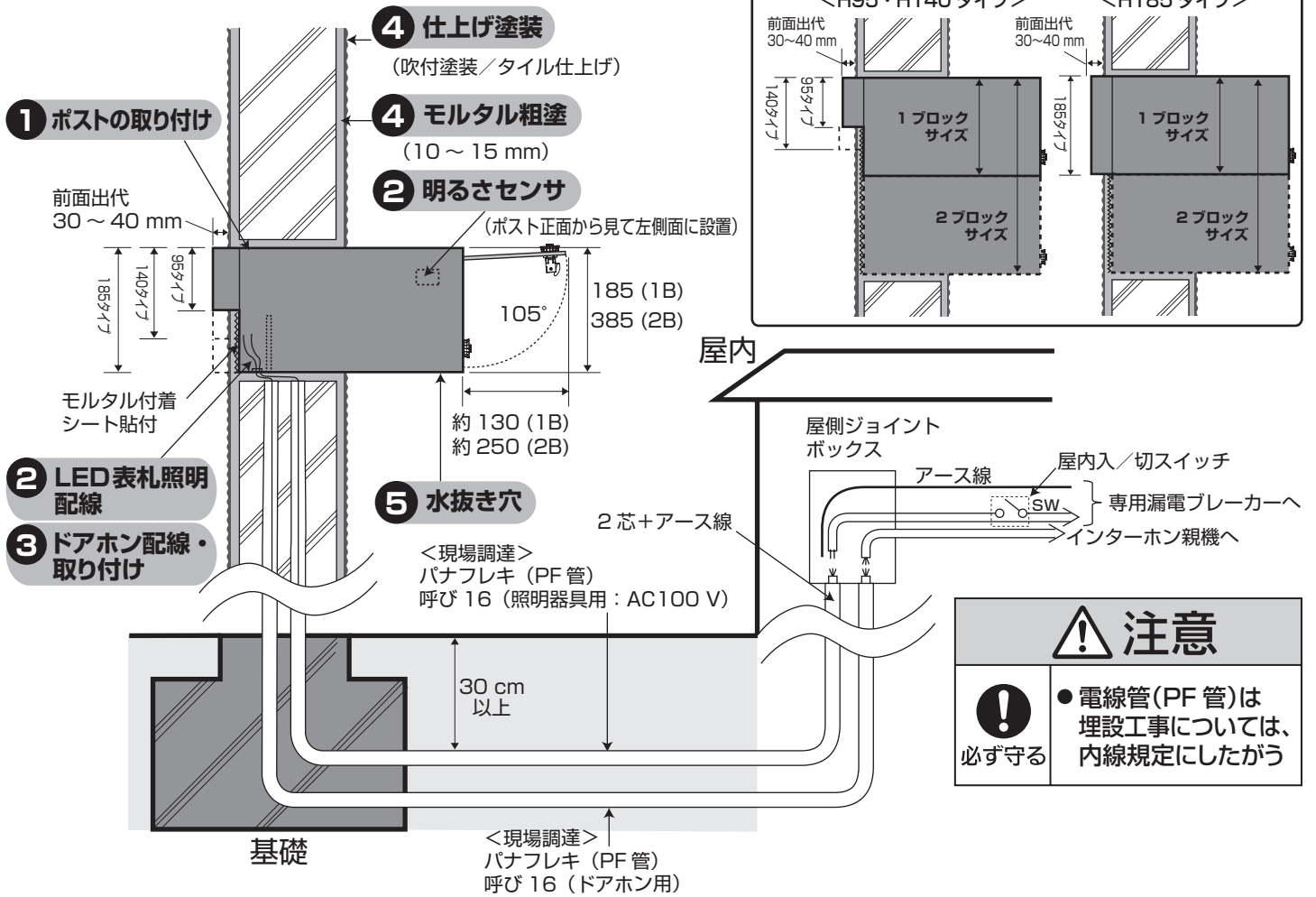
オプション品(別売)

- ・ 施工枠
- ・ ドアホン台座(140用)
- ・ カメラ化粧カバー
- ・ ドアホン目隠しパネル
- ・ 化粧枠
- ・ 化粧パネル

新築(新設)の場合

施工仕上がり図・配線工事図例

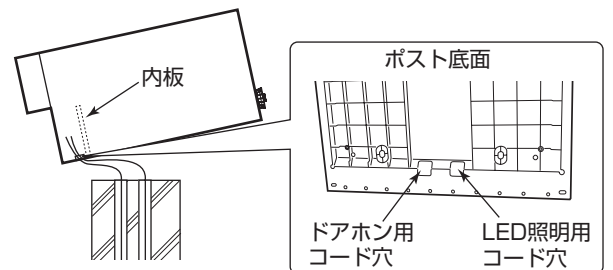
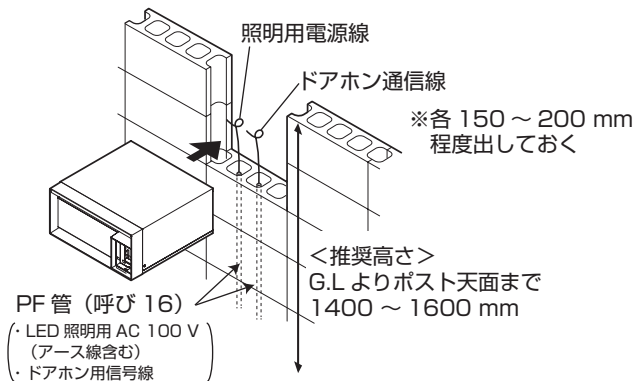
ポスト設置位置へあらかじめPF管を埋設してください。



1 ポストの取り付け

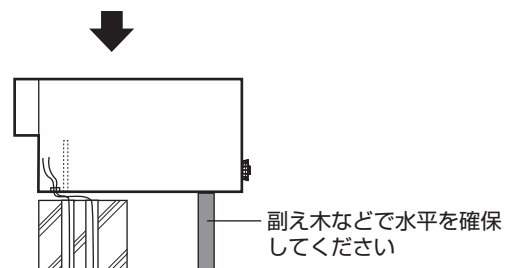
①ポスト本体部より、たてよこ 10~20 mm くらい大きめの穴を門柱や塀の取付部分にあけます。ブロック塀に取り付ける場合は、ブロック 1 個分、または 2 個分の穴をあけておくか、サインポストを 1 個分、または 2 個分のブロックのつもりで積んでいきます。

②取り付けの際、LED 照明用コード、ドアホン用コードを底面の配線引込穴からポスト内に挿入しておきます。





お願い

●カメラドアホンを取り付ける場合は、ポストの設置高さにご注意ください。(撮像範囲をご確認ください。)



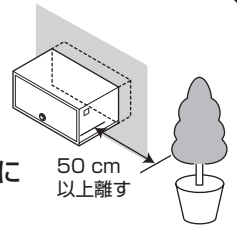
新築(新設)の場合 (つづき)

2 LED表札照明配線

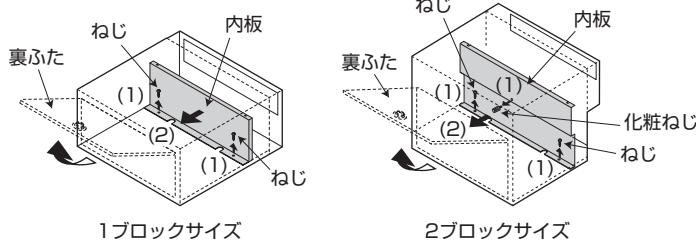
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
|  警告 |  必ず守る | 感電・発火のおそれあり <ul style="list-style-type: none"> ● 電源線は端子台の奥まで確実に差し込む。 ● カバーは電源線接続後、元通りねじ固定する。 |  アース線接続 | 感電のおそれあり <ul style="list-style-type: none"> ● アース線を確実に接地する。 |
|---|---|---|---|---|

明るさセンサ付 施工前の確認事項

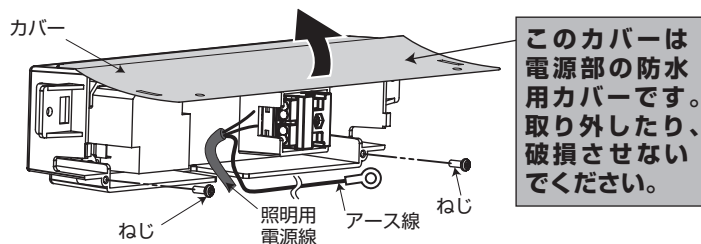
- 昼間でも暗い場所では、明るいうちに点灯し、朝、消灯が遅くなることがあります。
- 夜間でも明るい場所では、点滅したり、点灯しないことがあります。
- 車のヘッドライトや他の照明の光が明るさセンサに直接あたる場所では、点滅することがあります。
- 天面、側面から50 cm以内に障害物がないよう取り付けてください。(障害物があると部材の交換ができなくなります。)
- 明るさセンサ側は器具側面から50 cm以内に障害物がないよう取り付けてください。



①裏ふたをあげ、内板を固定しているねじを取り外し、内板を外します。

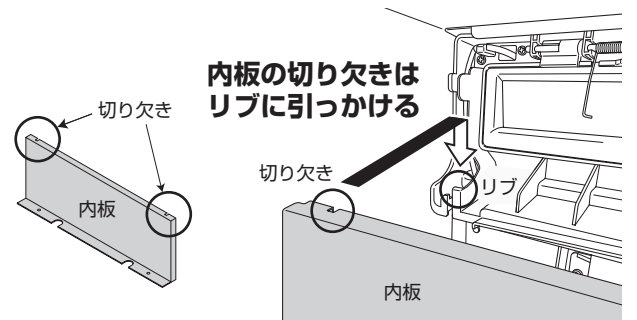


②ねじ2本を外し、カバーをめくり上げ、電源線を接続します。(カバーは外れません。)

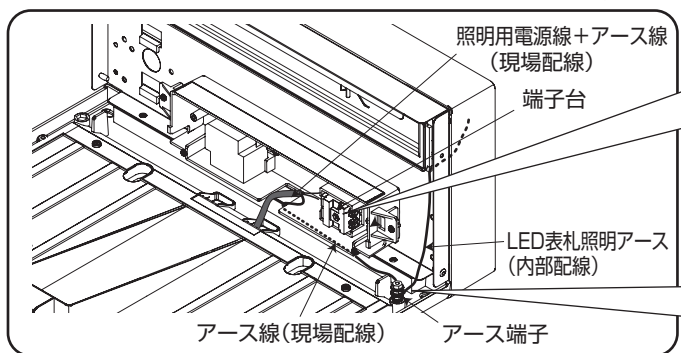


③接続後、カバーを元通りねじで留め、内板を元通りに取り付けてください。

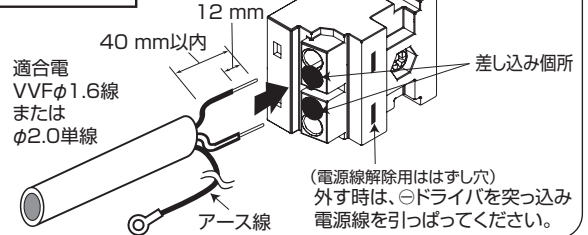
※内板の切り欠きを、樹脂のリブに引っかけて取り付けてください。
※納まりが悪いとすき間ができて、ハガキなどが引っかかりやすくなります。



端子台とアース端子の位置、および配線方法



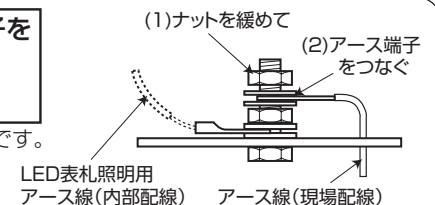
確実に差し込む



底板のアース端子を介して接地する

アース現場接地

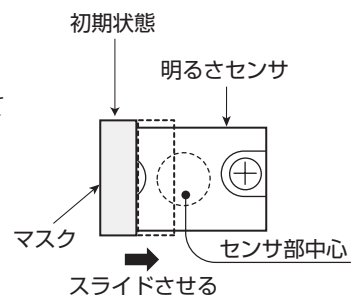
※D種接地工事が必要です。



お願い

明るさセンサ付の場合

- 器具が点滅を繰り返す場合
植栽、壁面の仕上げ等により反射光が強くLED表札照明が点滅を繰り返す場合は、明るさセンサのマスクを中央寄りに少しずつスライドさせ、入射光の量を調節してください。
注)マスクを中央までスライドさせると明るいうちに点灯し、朝、消灯が遅くなる場合があります。
- 電源を入れても点灯しない場合(周囲が明るい場合は点灯しません)
電源を切り5秒以上経ってから再び入れてください。



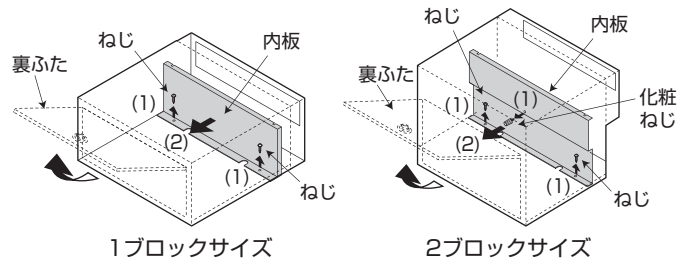
LED表札照明について

- LEDの明るさ、発光色について
LEDにはバラツキがあるため、同一品番商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。

3 ドアホン配線・取り付け

①裏ふたをあけ、内板を固定しているねじを取り外し、内板を外します。

140 (スリムタイプ) の場合、ドアホン台座 (別売) が必要です。
140 (スリムタイプ) ドアホン台座の取り付けについては8ページを参照してください。



②ポスト底面のコード用穴から引き込んだコードを台座から引き出し、ドアホン子機と接続します。

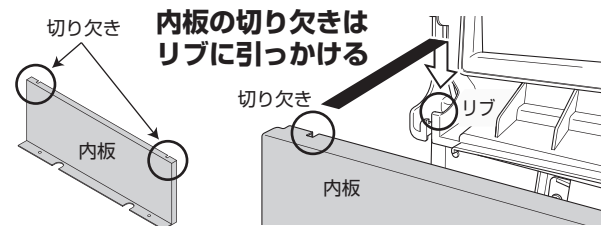
接続後、ドアホン子機を取り付け、内板を取り付けてください。

※ドアホン子機の接続・取り付けかたについては、ドアホン子機に付属の施工説明書を参照してください。

※ドアホンを取り付けない場合は、目隠しパネル (別売) を取り付けてください。

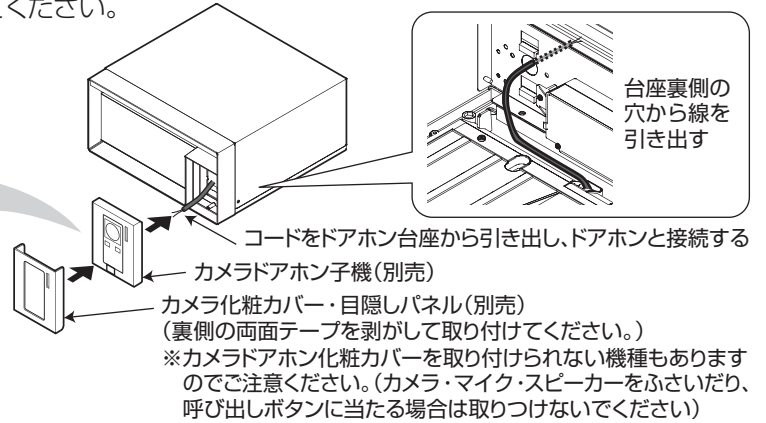
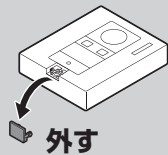
※内板の切り欠きを、樹脂のリブに引っかけて取り付けてください。

※納まりが悪いとすき間ができて、ハガキなどが引っかかりやすくなります。



●ねじカバーを下に開くドアホンの場合

ドアホンをポストに取り付ける前に、ねじカバーを取り外し、ポストに取り付けた後、再度ねじカバーをドアホンに取り付けてください。



4 固定・仕上げ

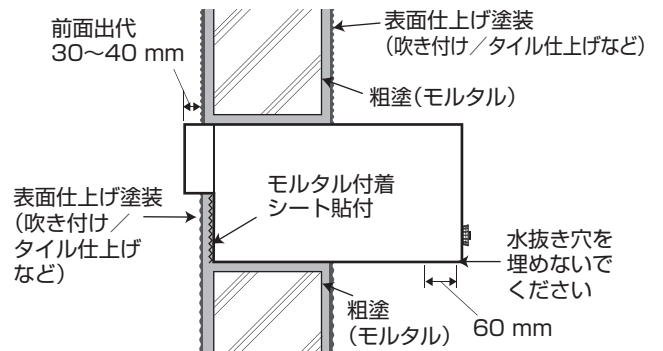
①ポストの周囲にモルタルやコーキングを10~15 mm程度施工し、ポストを固定します。

その後、仕上げ塗装 (吹き付け / タイル仕上げなど) します。

※仕上げ代を含め、前面の出代が30~40 mmになるよう、ポストの位置を調整し、固定してください。

※ポストの表面保護をする場合は、マスキングテープをご使用ください (養生テープ不可)。

②施工が完了したら、施工後の確認 (2ページ) をしてください。



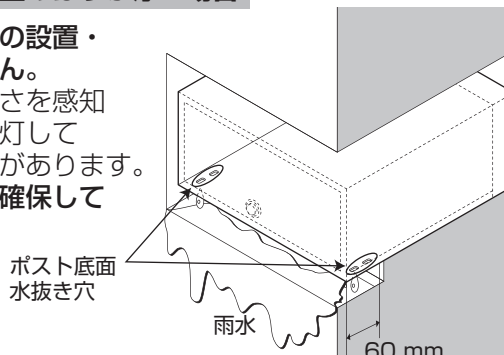
5 納まり注意

ポストの奥行より壁の厚い場合

●明るさセンサ付の設置・施工はできません。

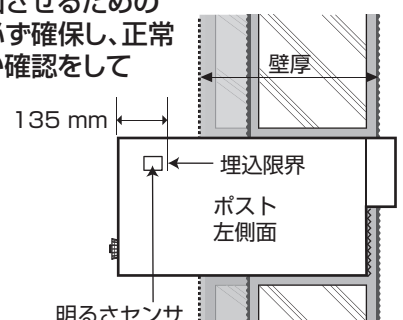
※センサが明るさを感知せず、常時点灯してしまうおそれがあります。

●排水スペースを確保してください。



明るさセンサ付の場合

●センサを感知させるためのスペースを必ず確保し、正常に作動するか確認してください。



リフォームの場合

リフォームの注意点

- 取り替え施工は、50cm ブロックタイプ・口金タイプ・3 ブロックタイプの交換はおすすめしていません。(ブロック工事が伴います。)
- 壁の仕上げ状態、または目地の状態によっても、施工難易度が異なります。工事前にご確認ください。(塗壁仕上げなどの場合、塗装部が割れたり、欠けたりするおそれがあります。)
- カメラドアホンを取り付ける場合は、子機の映像範囲問題がないか、あらかじめご確認ください。(カメラドアホンに付属の施工説明書を参照してください。)
- ポストの固定、および目地に市販のシリコン製コーキング剤を使用します。仕上がりイメージ状態も含め、事前にお客様と打ち合わせしてください。
- 右の QR コードで、施工方法の動画を視聴することができます。

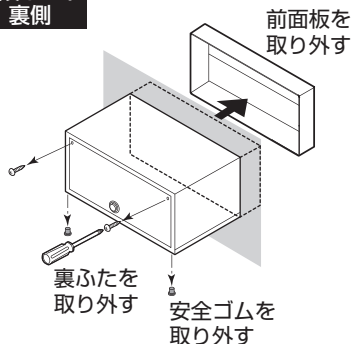


リフォーム施工動画

1 既設ポストの取り外し

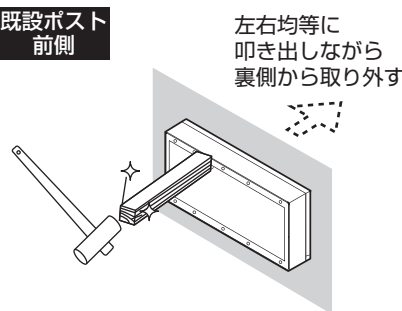
- ① ドアホン・チャイム・照明などが付いている場合、配線を取り外します。
※主電源(ブレーカーや室内親機)を落としてから行ってください。
※取り外した配線は、傷が付かないよう絶縁テープなどで保護してください。
- ② 裏ふたや前面板など、取り外せるものは、あらかじめ取り外しておいてください。

既設ポスト 裏側

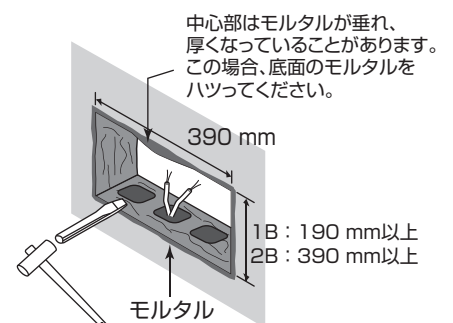


- ③ ハンマーと当木を使用し、前側から裏側へ左右均等に少しずつ叩いて、ポストを取り出します。
※ポストを取り外す際、配線を傷つけないように注意してください。傷が付いた場合は、いったん切断し、後から付け足してください(電気工事士の資格が必要です)。
※ポストを潰しすぎると取り出しにくくなります。モルタルとはく離する程度に天面・側面を軽く叩いてください。

既設ポスト 前側

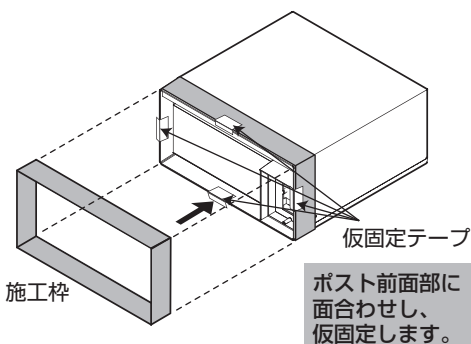


- ④ 開口部の寸法を確認します。
※1Bの場合：390 mm×190 mm
2Bの場合：390 mm×390 mm
必要です。
※左右と上部の目地モルタルはそのままにして、底の部分だけモルタルをハツると、ポストのセッティングやコーキング仕上げがやりやすくなります。
※開口部に残ったシーリング剤なども綺麗に取り除いてください。

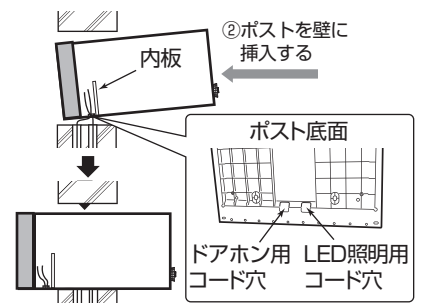


2 ポストの取り付け

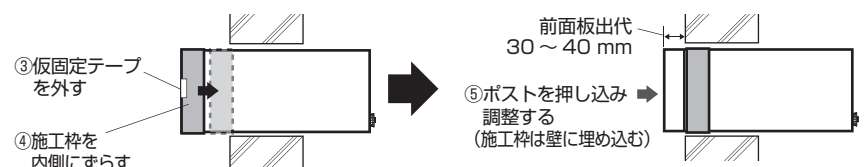
- ① ポスト本体に施工枠(別売)を仮固定テープで取り付けてください。
※施工枠がない場合は、傷が付かないようにマスキングテープを巻いてください。



- ② 施工枠を取り付けたポストを開口部裏側から挿入してください。その際、LED照明用コード、ドアホン用コードを底面のコード穴からポスト内に引き込んでおきます(内板の裏側に引き込まれます)。



- ③ 施工枠の仮固定テープを外します。
- ④ 施工枠を壁内にずらして押し込んでください。
- ⑤ 前面を壁面より 30 ~ 40 mm 出るように調整してください。
※施工枠はそのまま壁に埋め込んでください。

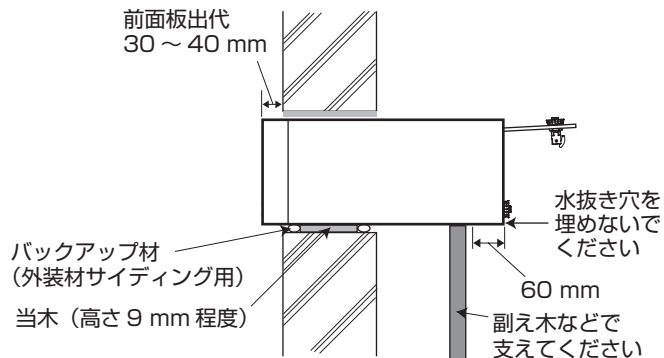


3 LED 表札照明の配線・ドアホン取り付け

LED 表札照明付きの場合は、4 ページの手順2「LED 表札照明配線」を参照してください。
ドアホンを後付けする場合は、5 ページの手順3「ドアホン配線・取り付け」を参照してください。

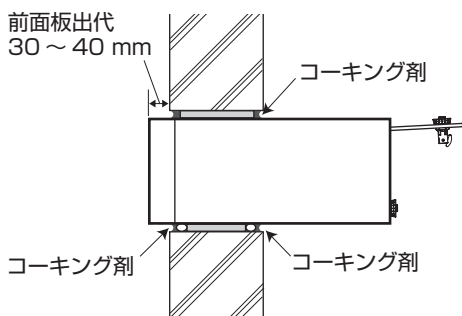
4 仕上げ前のセッティング

前後左右の水平出しを行い、当木やバックアップ材などでセッティングをしてください。
また、水抜き穴や明るさセンサなど、正しい位置にあるかどうか確認してください(5 ページ参照)。



5 仕上げ

水平出しが完了したら、シリコン系のコーキング剤で仕上げ、ポストを固定します。
タイプにより、モルタル付着シートが露出する場合は、化粧パネル(別売)を取り付けてください。(8 ページ)
(モルタル付着シートは、雨等で黒く変色しますのでご注意ください。)

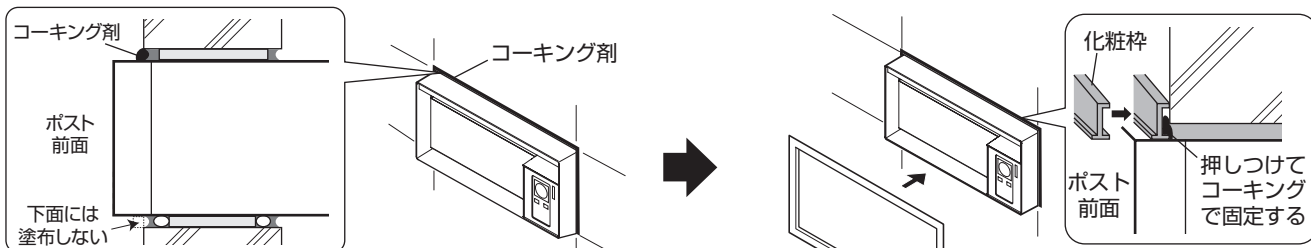


お願い

- ポストの前面部分は塀の壁面より 30 ~ 40 mm 出代を確保してください。
- 水抜き穴が本体底にあります。水抜き穴をふさいでしまわないよう注意してください。
- 水平出しをしてください。
- ポストの表面保護をする場合は、マスキングテープをご使用ください(養生テープ不可)。

6 化粧枠の取り付け

ポストの上側・左右側面に化粧枠用のコーキング剤を塗り、化粧枠(別売)を取り付けます。



注意

必ず守る

下面にはコーキングを塗布しない

- 水が抜けず、凍結などで機能が損なわれるおそれがあります。

7 乾燥・養生・確認

コーキング剤が乾燥するまで、マスキングテープで固定しておいてください。
コーキング剤が十分乾燥してから副え木を外して、施工後の確認(2 ページ)をしてください。

オプション

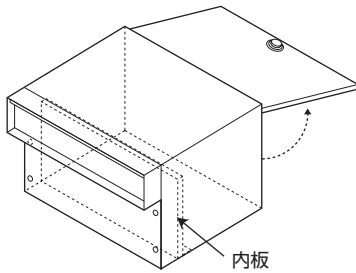
化粧パネルの取り付け

ポール施工・据置施工・フェンス施工などで、モルタル附着シートが露出してしまう場合は化粧パネル(別売)を取り付けてください。(モルタル附着シートは、雨等で黒く変色しますのでご注意ください。)

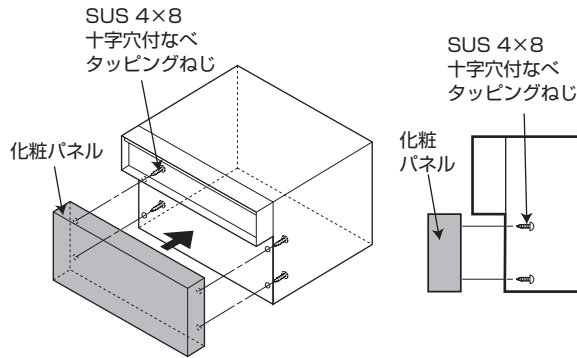
お願い

- 化粧パネルの取り付けは、ポストを設置する前にあらかじめ取り付けるようにしてください。ポスト設置後に化粧パネルの取り付けを行うと、落下して傷が付くおそれがあります。

- ①裏ふたをあげ、内板を取り外します。
※内板の外し方については、4ページを参照してください。



- ②投入口下くぼみ部に化粧パネルをセットし、ポスト内部から付属のねじで固定します。
※ねじの取り付け本数は化粧パネルのサイズによって異なります。



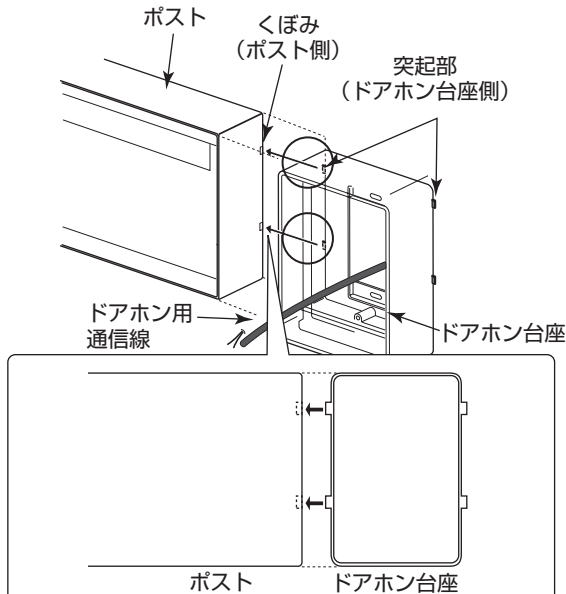
化粧パネル取付け用ねじ

SUS 4×8
十字穴付なベタタッピングねじ 1種 (7本)

| 品名 | 使用数 | 予備 |
|---------------|-----|----|
| 化粧パネル 185 2B用 | 4本 | 3本 |
| 化粧パネル 140 1B用 | 2本 | 5本 |
| 化粧パネル 140 2B用 | 4本 | 3本 |
| 化粧パネル 95 1B用 | 4本 | 3本 |
| 化粧パネル 95 2B用 | 6本 | 1本 |

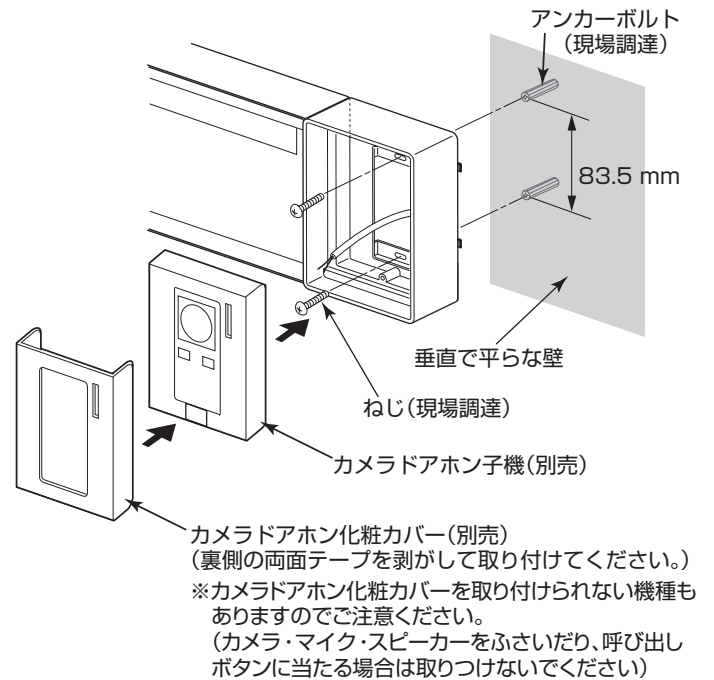
140(スリムタイプ)用ドアホン台座の取り付け (新築施工の場合は、5ページ手順4「固定・仕上げ」の前に取り付けてください。)

- ①ドアホン台座にドアホン用の信号線を通し、ドアホン台座とポストの上下位置を合わせ、ドアホン台座の突起部とポスト側のくぼみを合わせます(2箇所)。
※ドアホン台座はポストの左右どちら側にも取り付けられます。



※上下があります。
突起部とくぼみが2箇所とも合う方向で取り付けてください。
※ポスト本体とドアホン台座の上下面の水平レベルを合わせてください。

- ②ドアホン台座をアンカーボルト(現場調達)で壁に固定し、ドアホン子機(別売)およびドアホン化粧カバー(別売)を取り付けてください。
※ドアホンの取り付けかたについては、ドアホンの施工説明書を参照してください。



商品改良のため、仕様、外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

パナソニックハウジングソリューションズ株式会社 外廻りシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co., Ltd. 2023

214-EP185S
D0419-2013